

2009(平成21)年4月8日

東京都病害虫防除所

## 平成21年度病害虫発生予察情報 特殊報 第1号

病害虫名： プラムポックスウイルス による病害  
病 原： プラムポックスウイルス(仮称)  
          plum pox virus (P P V)  
対 象： ウメ

このウイルスの正式和名はまだ決定されていませんが、正式英名である「plum pox virus」の音訳である「プラムポックスウイルス」を用いました。

このウイルスは果実からウメ、モモ等の植物へ感染することはありません。  
また、このウイルスは植物に感染するものであり、ヒトに感染しませんので、  
果実を食べても健康に影響はありません。

### 1. 特殊報の内容

東京都内において、プラムポックスウイルス(P P V)による病害の発生が初確認された。

### 2. 発生の経過

2008年6月、青梅市内のウメ農家の圃場において、ウメの葉に退緑斑点や輪紋等の症状が発生し、発症葉が東京都農林総合研究センター(都農総研)に持ち込まれた。

本症状はウイルスによる病害であることが疑われたため、都農総研は東京大学に診断を依頼した。東京大学が電子顕微鏡観察およびRT-PCR法による検査を行った結果、本ウイルスが検出された。その後、農林水産省・横浜植物防疫所による追加検定の結果、同ウイルスの感染が確認された。

### 3. 病原ウイルスの諸性質

本ウイルスは、1915年に欧州で発見されて以来、北米、南米、アジアの一部で発生が確認されている。

(1) 伝搬：アブラムシ類により伝搬される。吸汁によってウイルスを獲得したアブラムシが、健全な宿主上で吸汁することによって伝搬する。アブラムシによって獲得されたウイルスは短時間のうちに活性が失われるため、媒介は非持続性である(非持続性伝搬)。また、P P Vに感染した苗や穂木によっても伝搬される。

(2) 宿主植物：主に *Prunus* 属の果樹(ウメ、アンズ、スモモ、ネクタリン、モモなどの核果類)。

(3) 病徴：ウメでは花卉に薄赤色の斑入り症状を呈し、葉には退緑斑点や輪紋を生じる(図1、2)。これまでのところ、果実では異常な症状は確認されていない(海外の報告によると、モモなど他の核

果類の果実では奇形や輪紋等の症状が生じるなどの商品価値の低下や、早期落果による収量の減少があるとされる)。なお、宿主の種類や品種によって症状の様態、程度が異なることが考えられるため、注意が必要である。

#### 4. 防除対策および注意点

(1) 感染の拡大を防ぐために、本ウイルスを媒介するアブラムシ類の防除を徹底する。防除が遅れると葉を強く巻いて薬剤がかかりにくくなるので、早めに防除する。4月上旬～5月中旬に、登録薬剤を使用基準に従って散布する(表)。秋には有翅虫が飛来し産卵するので、発生に注意し適時防除する。

(2) アブラムシの発生源となるような周辺の雑草については、除草を徹底する。

(3) 感染した株を無病苗へ植え替える。

(4) 本ウイルスは、感染していても明瞭な病徴を示さないことがあるので注意する。



図1. 花弁における症状



図2. 葉における症状

表 アブラムシ類に対する登録薬剤の例

#### 【ウメ】

薬剤名	希釈倍率	使用量	使用時期	使用回数
アクタラ顆粒水溶剤	2000～3000倍	200～700L/10a	収穫7日前まで	2回以内
アルパリン顆粒水溶剤 /スタークル顆粒水溶剤	2000倍	200～700L/10a	収穫前日まで	3回以内
アドマイヤー顆粒水和剤	10000倍	200～700L/10a	収穫21日前まで	2回以内
モスピラン水溶剤*	2000～4000倍	200～700L/10a	収穫7日前まで	2回以内

\*小粒核果類に登録

## 【アンズ】

薬剤名	希釈倍率	使用量	使用時期	使用回数
アクタラ顆粒水溶剤*	2000倍	200～700L/10a	収穫7日前まで	2回以内
アルバリン顆粒水溶剤*	2000倍	200～700L/10a	収穫7日前まで	2回以内
ノスタークル顆粒水溶剤*				
アドマイヤーフロアブル	5000倍	200～700L/10a	収穫7日前まで	2回以内
モスピラン水溶剤*	2000～4000倍	200～700L/10a	収穫7日前まで	2回以内

\*小粒核果類に登録

## 【スモモ】

薬剤名	希釈倍率	使用量	使用時期	使用回数
アクタラ顆粒水溶剤*	2000倍	200～700L/10a	収穫7日前まで	2回以内
アルバリン顆粒水溶剤*	2000倍	200～700L/10a	収穫7日前まで	2回以内
ノスタークル顆粒水溶剤*				
アドマイヤー顆粒水和剤	10000倍	200～700L/10a	収穫21日前まで	2回以内
モスピラン水溶剤	2000～4000倍	200～700L/10a	収穫7日前まで	3回以内

\*小粒核果類に登録 スモモは[プラム、ブルー]を含む

## 【ネクタリン】

薬剤名	希釈倍率	使用量	使用時期	使用回数
アルバリン顆粒水溶剤	2000倍	200～700L/10a	収穫前日まで	3回以内
ノスタークル顆粒水溶剤				
アドマイヤー顆粒水和剤	5000～10000倍	200～700L/10a	収穫14日前まで	2回以内
モスピラン水溶剤	4000倍	200～700L/10a	収穫3日前まで	3回以内

## 【モモ】

薬剤名	希釈倍率	使用量	使用時期	使用回数
アクタラ顆粒水溶剤	3000倍	200～700L/10a	収穫前日まで	3回以内
アルバリン顆粒水溶剤	2000倍	200～700L/10a	収穫前日まで	3回以内
ノスタークル顆粒水溶剤				
アドマイヤー顆粒水和剤	5000～10000倍	200～700L/10a	収穫3日前まで	2回以内
モスピラン水溶剤	2000～4000倍	200～700L/10a	収穫前日まで	3回以内

核果類の花、葉、果実などに見慣れない症状を発見した場合には、最寄りの農業改良普及センターまたは病害虫防除所へご連絡ください。

東京都病害虫防除所

〒190-0013

東京都立川市富士見町3-8-1

電話：042-525-8236 F A X：042-529-0943